

<記入例>

2 発掘調査経歴書

○ 経歴は直近から記述し、指定用紙の範囲内で記述して下さい。

内容欄には担当・従事のどちらか一方に○を付けて下さい。

○ 元号の表記は昭和はS・平成はH・令和はRで記入して下さい。

時期・期間				場所（都道府県・市町村）		遺跡名	内容
R 元年 7 月	～	R 2 年 3 月	9 ヶ月	東京都	中央区	A 遺跡	担当 ○(従事)
H 4 年 4 月	～	H 6 年 3 月	24 ヶ月	埼玉県	熊谷市	B 遺跡	○(担当) 従事
S 59 年 5 月	～	S 60 年 3 月	11 ヶ月	群馬県	渋川市	C 遺跡	担当 ○(従事)
年 月	～	年 月	ヶ月			遺跡	担当・従事

記入上の注意事項

1. 発掘調査と資料整理・発掘調査報告書執筆に分けて記入すること。
2. 元号は、昭和=S、平成=H、令和=Rで標記すること。
3. 遺跡の所在地は、調査・整理当時の行政区分で記入すること。
4. 内容は、具体的に記入すること。
5. 書き方等で不明・疑問等がある場合は、当団に連絡し確認して下さい。

3 資料整理・発掘調査報告書執筆経歴書

○ 経歴は直近から記述し、指定用紙の範囲内で記述して下さい。

内容欄には具体的な業務を記入

○ 元号の表記は昭和はS・平成はH・令和はRで記入して下さい。

時期・期間				場所（都道府県・市町村）		遺跡名	内容
R 元年 7 月	～	R 2 年 3 月	9 ヶ月	東京都	中央区	A 遺跡	遺物実測・採拓
H 4 年 4 月	～	H 6 年 3 月	24 ヶ月	埼玉県	熊谷市	B 遺跡	デジタルトレース
S 59 年 5 月	～	S 60 年 3 月	11 ヶ月	群馬県	渋川市	C 遺跡	本文執筆・観察表執筆
年 月	～	年 月	ヶ月			遺跡	

4 著述経歴書

○ 元号の表記は昭和はS・平成はH・令和はRで記入して下さい。

発行年月	書名・論文名・報告書名	内容	発行機関
R 元年 11 月	●●文化の展開	●●文化の概念について・●●文化の特徴と▲▽文化との相違点について・●●文化の時期区分・●●文化の終焉	
H 27 年 12 月	○○○遺跡発掘調査報告書	縄文時代中期後半の集落跡・編集及び執筆 竪穴建物40基・土坑350基等・土器・石器等800点掲載	○○県□□市教育委員会
H 26 年 10 月	◇◇◇研究 第▽▼号 ◎◎◎遺物に関する一考察	出土遺跡の分布状況・◎◎◎遺物の形態分類（形状・大きさ・重さ）・共伴遺物と時期・まとめ	□◇◆研究会